

「知れ、主こそ神であると」

詩篇100篇

1

全地よ、主に向かって喜びの声を上げよ。喜びをもって仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。

知れ主こそ神。主が私たちが創られた。私たちは主のもの。主の民。その牧場の羊である。

感謝しつつ、主の門に、賛美しつつその大庭に入れ。主に感謝し、御名をほめたたえよ。

主はいつくしみ深く、その恵みはとこしえまで、その真実は代々に至る。 詩100:1-5

2

主(神)に向かって

- 喜びはどこから？
- いつも**主にあって**喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。ピリピ4:4
- わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、**わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるため**ですヨハネ15:11
- 戦後のクリスチャンブームの後、日本はどこに向かった？ マタイ6:24

3

主(神)に向かって

- 「起業して成功した。まだ40代。お金もある、時間もある、家族もいる。当然、不幸とは思わない。けど、幸福感を感じることができない。」
- 「趣味、ボランティア、寄付、旅行 全部やったけど、やっぱりなんか違う。」
- 人の心にある、神のかたちをした空洞。
- 創造者である神以外には満たすことはできない。

4

主(神)に向かって

- 「神はすごい」「輝く日を仰ぐとき」、...
- 主を恐れることが、知識と知恵の初め 箴1:7
- その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを**知ること**です。ヨハネ17:3
- あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また「**何の喜びもない**」と言う年月が近づく前に。伝道者12:1

5

神に仕える喜び

- 知れ主こそ神。主が私たちが創られた。私たちは主のもの。主の民。その牧場の羊である 詩100:3
- 自分の目的や計画(夢)を実現するために神が存在する？ 神の目的と計画(夢)のために私たちが存在する。
- 私たちの「**使命**」主から受けた命をどう使う？
- 主に仕える。「**仕事**」(仕えること)
- 主のもの、主の民。王(主)のしもべ。

6

羊の歌

【主】は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。
 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。
 主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。
 たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませぬ。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。
 私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそいでくださいます。私の杯は、あふれています。
 まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが私を追って来るでしょう。私は、いつまでも、【主】の家に住まいます。

7

羊飼いとの関係がいのち

- 羊飼いの歌 「わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」 ヨハネ10:10-11
- 宗教的発見、さとり、「ありがたい」
- 「ありがとう」と感謝できる神との出会い、関係
- 聖書の**信仰＝親交**
- 関係がいのち ヨハネ17:3

8

羊飼いとの関係がいのち

- そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。
ローマ12:1
- 問題は神でないものを信じ、従い、ささげてしまっている。

9

主にふさわしく生きる

- 主に感謝し、ほめたたえる
- 自分が感謝されたい！ほめられたい！？
- 主の恵み、愛、真理は永遠、変わらない。
- 神によって変えられるより、神の恵みを自分の目的に利用しようとする。
- 神のまことより、人間のまことのほうが大事になってしまう。(新選組、大日本帝国、天皇)

10

今日の力「感謝」

- 私たちの身体は感謝を表すように造られました。科学的調査によって、感謝することで睡眠の質や気分や免疫力が向上することが分かっています。感謝によって気分の落ち込みや不安が軽減するかもしれません。神様は私たちが感謝するように造られました。
- 2024年7月4日 アーカンソー州 Lスコット・ゲイジ

11

主にふさわしく生きる

- 私たちも「良い、いつくしみ深い、真実な」神の子どもたちになる。
- 礼拝、「はいれ」(関係)、神の前に行く。神に入っていていただく。王として治めていただく。喜びをもって王に仕える。それが礼拝。
- 神を喜び、感謝し、喜びをもって仕える。
- 自分が感謝され、ほめられることを求め、神に仕えるより、使おうとする今の世の流行、精神に注意しましょう。

12

全地よ、主に向かって喜びの声を上げよ。
喜びをもって仕えよ。喜び歌いつつ御前に
来たれ。
知れ主こそ神。主が私たちを創られた。私
たちは主のもの。主の民。その牧場の羊で
ある。
感謝しつつ、主の門に、賛美しつつその
大庭に入れ。主に感謝し、御名をほめたた
えよ。
主はいつくしみ深く、その恵みはとこしえま
で、その真実は代々に至る。 詩100:1-5